

四国支部の設立にあたって

四国支部副支部長

右城 猛

(高知県)



皆様には日頃から大変お世話になっています。日本技術士会本部役員、旧中・四国支部会員の皆様のご理解とご尽力により今年の4月、日本技術士会四国支部を設立することができました。四国に住む会員にとっては長年の悲願であり、ご尽力を賜った皆様に衷心より感謝申し上げます。

高知県では昭和61年に高知県技術士会を設立しました。当時の会員数はわずか14名でした。技術士は超難関の国家資格であるにも関わらず、市民には勿論のことマスコミ関係者にさえ認知されていませんでした。

爾来24年が経過し、会員数は106名に増加しました。県下で斜面災害、豪雨災害が発生すると、関係機関から現地視察や復旧対策の専門的アドバイスを要請されています。(社)高知県建設技術公社の主催する技術者研修会の講師、技術研究発表会の審査員、工業高校の課題研究の指導などを依頼され、専門技術士を派遣しています。

技術士には、高い倫理観と高度な専門的知識が求められているため、会員は真摯に日々自己研鑽に励んでいます。技術士が高い評価、信頼を得るようになったのは、会員の努力の賜であると思っています。

国・地方が財政難にある中で、これまで整備蓄積してきた社会資本が更新期を迎え、長寿命化や維持補修が大きな課題になっています。また、日本は地震の活動期に入ったとされ毎年のようにどこかで大規模地震が発生しています。30年後には60%の確率で東南海・南海地震が確実に発生すると言われていています。さらに、地球温暖化の影響でゲリラ的豪雨水害が多発しており、これらに対する備えが急がれています。

限られた予算枠の中で、四国に住む400万の人々が安全で、安心して豊かな生活を営むことができるようにするには、斬新な技術を駆使してソフト・ハード両面からの整備が必要になりますが、それを考え実現できるのは、技術士以外にはいません。四国にいる約1,000名の技術士が一致団結し、その立場で社会貢献をしていかなければなりません。その意味で、四国支部の設立は、極めて意義深く、時宜を得たものであると思っています。

現在、四国支部の会員数は313名に過ぎません。四国の技術士全員の支部入会を目標に、会員になったことによるメリットを感じてもらえるような魅力ある支部活動を行っていかねばならないと考えています。

四国支部の発展のために、皆様のさらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。